

様式第2号（第5条関係）

平成29年12月7日

出張報告書

栗山町議会議長

様

栗山町議会議員 久西勝博



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 平成29年10月2日～平成29年10月2日まで
- 2 旅行先 札幌市北海道自治会館
- 3 目 的 議会改革研究70-74 2017
- 4 関係書類 別紙のとおり



¥2,260

日時 平成 29 年 10 月 21 日(土)14:00~18:00

場所 札幌市北区北 6 条西 7 丁目 5-3 北海道自治労会館 3F 中ホール

主催 北海道自治体学会・議会技術研究会・北海道地方自治研究所、g-mix

後援 北海道市議会議長会・北海道町村議会

調査項目 「議会技術研究フォーラム 2017」参加者 81 名

テーマ 「議会改革第 2 ステージとは何か」

第1部 基調講演

「市民による『議会の発見』と『政策議会』の展望」

講演者 神原 勝氏（北海道大学名誉教授・議会技術研究会顧問）

第2部 パネルディスカッション

テーマ『市民による「議会の発見」と『政策議会』の展望』

コーディネーター 神原 勝氏

パネリスト 鶴川 和彦氏（栗山町議会議長）

木須 美樹氏（g-mix(議会事務局マージングリスト)管理者）

西科 純氏（議会技術研究会共同代表）

第3部 基調報告

「議会「常識」は真理なのか？～第 2 ステージで軍師に求められるもの」

報告者 清水 克士氏（滋賀県大津市議会・議会局次長）

第 4 部 ワークショップ

テーマ「議員間討議の推進」

コーディネーター 西科 純氏

背景

栗山町議会基本条例制定から 10 年が経過し、「議会改革の第 2 ステージ」が叫ばれる今日において、その向うべき方向性具体策を探るべく参加した。

考察

栗山町議会基本条例が施行され 10 年が経過しその効果がどのように住民の福祉の増進につながったのか、つなげるべきなのかを検証すべき時と考えます。

今回の研修、パネルディスカッションにおいて条例が独り歩きしているようにも思えます。議会と町民にある何と無く感じる垣根を打破すべく議会改革を議員として活動することが大切だと感じます。